

【第2回】東京都言語聴覚士会・埼玉県言語聴覚士会共催 聴覚領域研修会

2019年

日時

12月14日(土) 12:45~17:00

※受付は12:00から

会場

帝京平成大学 池袋キャンパス(本館)

住所／東京都豊島区東池袋2-51-4

交通／JR池袋駅東口より徒歩12分

東京メトロ有楽町線東池袋駅より徒歩10分

都電荒川線向原駅より徒歩10分

池袋キャンパス1号館では
ありません。

詳しい地図と池袋駅から
の道順は大学HPをご確認
ください。

講演内容

聴覚障がい児・盲ろう児の早期発見支援

—関係発達論からの提言— (厚生労働科学研究費障害者政策総合研究事業)

第Ⅰ部 黒田 生子 先生 帝京平成大学教授

第Ⅱ部(特別講演) 鯨岡 峻 先生 京都大学名誉教授

今日、わが国では新生児聴覚スクリーニング検査の普及により、0歳台で聴覚障害が発見され、発達の最早期から支援を要する子どもが増加しています。他方、本邦の児童発達支援サービスの利用率は聴覚障がい児で約2%、視覚障がい児では約0.3%と極めて低く(厚生労働省2015)、視・聴覚に障害を持つ子どもの早期支援方法の普及と支援の質の担保が、今後早急に解決すべき重要な課題と考えられています。

本研修会では支援現場の昨今の問題状況(一部の支援現場における聴覚活用軽視の動向や、逆に手話使用を禁ずる動向など)をふまえつつ、早期補装具(補助具)使用による聴覚(視覚)活用の意義および手話使用の意義を、幼い子どもと周囲との関係発達と感性的コミュニケーションの視点から改めて捉え直し、子どもの生育後の「より良い生」に資する支援とは何かについて、提言を行いたいと思います。

対象

児童発達支援に従事する言語聴覚士、そのほか児童発達支援現場の実践者
(保育士、臨床発達心理士など)の皆さん

参加費

関東圏*都県言語聴覚士会会員:無料 学生会員:無料

*茨城・栃木・群馬・千葉・埼玉・東京・神奈川・山梨

非会員:2,000円

申込方法

右のQRコード、もしくは下記お問い合わせ先まで、①お名前、
②所属(職種)、③連絡先(mail)、④都県士会員の有無をお知らせ
ください。

お申込みフォーム



一般社団法人 東京都言語聴覚士会・一般社団法人 埼玉県言語聴覚士会

担当:野原(東京都言語聴覚士会)・岡野(埼玉県言語聴覚士会) お問い合わせ先:a.nohara@thu.ac.jp(野原)